



こみのねこのてくらぶ

きたぐんみきちょう

## 小菘猫の手クラブ (香川県木田郡三木町)

- 平成19年度に周辺5集落で活動組織を設立し、地区内の集落営農組織が中心となって、農地、農業用施設の保安全管理を行っている。
- 本組織では、農家が中心となっていた農用地、水路、ため池の草刈り等の基礎的保全活動について、非農家や地区外からの協力者の参加を呼びかけ、幅広い参画による活動を実施している。
- また、景観形成活動として、農道沿いにシバザクラ、遊休農地に育てやすいズイナを植栽し、豊かな農村風景保全活動として定着している。
- さらに、他事業を活用した、産直、農村レストラン、農家民宿、グリーン・ツーリズム、学校機関との連携等、多角的な取り組みにつながっている。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積22ha  
(田14ha、畑8ha)
- ・資源量 水路6km  
農道9km
- ・主な構成員 農業者、営農組合、  
小菘女性クラブ
- ・交付金 約2百万円(R4)

農地維持 支払	資源向上 支払 (共同)	資源向上 支払 (長寿命化)
------------	--------------------	----------------------

### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、高齢化や過疎化により地域活動への参加が減少していたことにより、農地や農業用施設の維持管理に支障をきたしていた。
- また、高齢化世帯、女性だけの世帯、土地持ち非農家などで個々の労力では、営農はもとより農地を維持管理することが困難な農家が増えてきた状況であった。



小菘の棚田風景

### 取組内容



- 地域における所得向上や雇用の確保を図る(地域住民以外の方が参加、景観形成により来訪人口増加への取組み)



- 多様な主体の参画による地域づくりを促進する(女性会、学校等が参画する組織)



- 地域内外の人に質の高い教育・生涯学習の機会を提供する(学校教育との連携した活動)



ズイナの植栽

### 取組の効果

- 集落営農組織が中心となった全員参加型の組織を設立することで、農地や農業用施設の保安全管理労力の軽減が図られるとともに地域活動の活性化へ貢献できている。
- また、本交付金の取組みにより、地区の連帯感や活性化の醸成・促進が図られ、本地域では、他事業を活用した産直や農村レストラン、農家民宿、グリーン・ツーリズムの農村の発展への活動につながっている。



シバザクラの植栽



水路の直営施工



よしおかちようかんきょうほぜんかい かんおんじし

### 吉岡町環境保全会（香川県観音寺市）

- 観音寺市の中央部に位置し、市街地に近く、水田地帯と住居が混住する地域に平成29年に設立された組織である。
- 本組織は、地区の北側に県の2級水系である財田川や地区中央部に一ノ谷川が流れていること、周囲にため池が数多くあることから、防災・減災力に取組み、地域防災活動の一環として避難訓練や土のうづくりを行っている。
- また、非農業者も含んだ地域全体で行う農道・水路清掃活動を毎年実施している。
- 令和3年までは毎年土のうづくりを行っていたが、今後は自治会主体で行うこととした。

#### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積23ha  
(田23ha、畑0ha)
- ・資源量 水路16.7km、農道10.4km  
ため池1ヶ所
- ・主な構成員 農業者、自治会等
- ・交付金 約1百万円(R4)

農地維持  
支払

資源向上  
支払  
(共同)

資源向上  
支払  
(長寿命化)

#### 下記取組みはR3年度までの内容

#### 活動開始前の状況や課題

- 市街地に近く、住居が混住する地域であり、農業者の減少や高齢化の影響で、農地、農業用施設の維持・管理に多大な労力を要している。
- また、市街地が近いことから、宅地化としての農地転用が進むことが懸念されており、将来的に向けて農地や農業用施設を守っていくことが課題となっている。



混住化状況

#### 取組内容



- 気候変動及びその影響を軽減するための対策を実践する(防災・減災力の強化の活動で防災訓練を実施)



- 持続可能な農業生産を支える(非農業者も参加した農道・水路清掃活動を実施)



防災訓練



#### 取組の効果

- 地区の周囲に河川やため池が数多く存在することから、日頃から防災意識をもっておくことが重要だと考えており、毎年度、本交付金を活用し、地域防災活動の一環で地域住民による土のうづくりを行った。これにより、地域住民の防災意識の向上につながった。
- また、地域住民による清掃活動を実施することにより、地域のコミュニケーションの場となるとともに、農村の環境保全に努めている。



地域住民による土のう作成



地域清掃状況



### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積657ha  
(田600ha、畑57ha)
- ・資源量 水路168km  
農道65km
- ・主な構成員 自治会、土地改良区等
- ・交付金 約48百万円(R4)

農地維持 支払	資源向上 支払 (共同)	資源向上 支払 (長寿命化)
------------	--------------------	----------------------

## あやうたちいきこういききょうてい まるがめし あやうた地域広域協定 (香川県丸亀市)

- 平成26年度に丸亀市綾歌町管内の活動組織の事務負担軽減を目的に丸亀市綾歌町土地改良区が事務局となり広域化された組織である。
- 本組織は、香川県で最初の広域協定組織であり、事務負担等により活動が困難となった組織や隣接エリアを広域組織に加え、組織活動の継続に寄与している。
- また、以前からイノシシ被害が問題となっており、防護柵の効果が十分発揮できるよう鳥獣害防護柵の設置点検隊を組織し、あらゆる小組織からの相談に応じて、点検、指導、設置補助等に取り組み、鳥獣被害や遊休農地の発生防止に努めている。
- 増進活動としては、池干しや清掃活動を通じて農村生活環境の保全を行っている。

### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、活動に対する事務が負担となり、農地・水・保全管理対策から本交付金の移行に際し、活動を取りやめたいと要望する組織が増え、組織活動の継続が課題であった。
- また、本地域の南側が山地となっており、過去からイノシシ被害が問題であり、毎年被害により作付けを断念し、遊休農地化が想定される状況であった。



↑鳥獣害防護柵修繕・補強  
←イノシシ等に侵入され破損(変形)した防護柵

### 取組内容



- 地域協働の力により目標を達成する(土地改良区と連携)



- 地域資源の適切な保全管理(土地改良区と連携し取組み面積拡大、鳥獣被害の抑制・防止)



- 地域における水質を保全する(池干し及び浮草除去等の清掃活動)



認定面積(農地維持)推移 単位:ha

### 取組の効果

- 土地改良区が事務負担を行うことで、組織活動が維持できたことに加え、隣接地域を広域組織に加えることで、認定面積(農地維持)において平成26年度から令和3年度に向けて84haの増加につながっている。
- 狩猟免許を新たに取得した構成員や綾歌地区有害鳥獣対策協議会により編成された設置点検隊が組織内の様々な地域で点検、指導、設置補助等を行うことで、被害の防止や遊休農地の発生防止に役立っている。



鳥獣柵設置状況



池干し後清掃状況



## 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積365ha  
(田313ha、畑52ha)
- ・資源量 水路37km  
農道36km
- ・主な構成員 農業者、自治会、  
土地改良区等
- ・交付金 約27百万円(R4)

農地維持 支払	資源向上 支払 (共同)	資源向上 支払 (長寿命化)
------------	--------------------	----------------------

## こうなんちくしぜんほごくみあい 香南地区自然保護組合 (香川県高松市)

- 本地域は香川県高松市の南西部に位置し、水田地帯に住居が混在する自然豊かな地域である。
- 本組織は、事務の効率化を図るため、平成27年度に7組織が合併して、土地改良区に事務作業を委託している。
- 地区内の保全対象である農業用施設として、40か所と多くのため池があり、維持管理する上での作業の安全対策に力を入れている。
- 本制度を活用したことで、ため池に足を運ぶ回数が増え、破損個所の早期発見につながっている (R2 : 5箇所、R3 : 1箇所、R4 : 2箇所)。

### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、ため池数が多いことに加え、農業者の減少や高齢化に伴い労力の確保が課題になっていた。
- また、過去には自治会ごとに「道直し」という地域住民総出で農道の修繕を行う行事があったが、舗装率の向上もあり、近年は行われなくなっていた。



管理されたため池



道直しの様子

### 取組内容



- 災害に強いインフラづくりとそのため技術開発に貢献する(草刈り活動に安全性を考慮し、ため池法面に小段を設置、ため池周辺に危険を知らせる看板を設置)



- 「道直し」を引き継ぎ、農道の小規模な修繕は本交付金を活用
- 地域における水質を保全する(非かんがい期における池干し、水質モニタリング調査)



ため池の法面への小段設置



小段詳細

### 取組の効果

- ため池の急な斜面でも安全に草刈り活動ができるようにため池の堤防に小段(足場)を設置。作業における安全性が高まるだけでなく、組織内において作業時の安全に対する意識が高まった。
- ため池の定期的な点検や本交付金の活動により、ため池に足を運ぶ機会が増えたことから、損傷個所を早期に発見することができ、被害を最小限にすることができている。



池干し時の保安全管理



安全啓発看板



はゆかかんきょうほぜんかい      あやうたぐんあやがわちよう  
羽床環境保全会（香川県綾歌郡綾川町）

- 平成19年度から農地・水・環境保全向上対策事業に取り組む、地域と一体となった農村地域の活動を推進している組織である。
- 本組織の特徴としては、地域住民とともに積極的に活動しており、遊休農地をふれあい農園として再生し、地元の小学校の児童の農業体験の場として活用している。
- また、ふれあい農園で野菜やそばを育てており、婦人会やうどん研究会の協力を得て、収穫したそばを用いたそば打ち体験等、地域のふれあい交流会を行っている。
- こういった活動により、地域農業への関心につながるとともに環境保全活動の計画的・積極的な対応が図られている。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積53ha  
（田50ha、畑3ha）
- ・資源量 水路12km  
農道 3km
- ・主な構成員 自治会、女性会、子供会
- ・交付金 約4百万円(R4)

農地維持 支払	資源向上 支払 (共同)	資源向上 支払 (長寿命化)
------------	--------------------	----------------------

### 活動開始前の状況や課題

- 本地区では、高齢化や後継者不足等の問題を抱えており、農業用施設の持続的な維持管理や遊休農地の発生が危惧される状況であった。
- また、農業用施設の維持管理において、特に問題と考えていたのが地区内の農業用水路であり、地域の一部では、素掘り水路の状態もあり、用水利用や維持管理に多大な労力を要していた。



素掘り水路状況

### 取組内容



- 多様な主体の参画による地域づくりを促進する(ふれあい農園での農業体験や収穫したそばを用いたそば打ち体験の実施)



- 持続可能な農業生産を支える(地域資源の適切な保全管理)



- 地域における水質を保全する(非農家を含めたクリーン作戦や景観形成活動)



農業体験状況



そばうち体験後交流会

### 取組の効果

- 非農家も巻き込んで地域を一つにして守っていくことを目的に組織。
- 遊休農地をふれあい農園として再生し、農業体験の場や婦人会の協力を得て、収穫したそばを用いたそば打ち体験、体験後の交流会の開催等、非農業者が参画した活動を積極的に実施している。
- 環境保全活動としては、非農家も参加したクリーン作戦による地域や通学路の清掃、景観形成活動として、コスモスの植栽も行われている。  
(R4清掃活動 参加者45人 内非農家25人)



クリーン作戦



景観形成活動



やまもとちょうかんきょうほぜんかい みとよし  
山本町環境保全会 (香川県三豊市)

- 山本町環境保全会は平成19年度等から活動を行っていた4つの小組織等が、令和2年に合併した組織である。
- 本組織では、農村環境保全活動に力を入れており、「希少種が生息、生育できる環境づくり」を目標としている。近年の環境変化により、かつては身近に生息していたドジョウ等の生息数が減少しており、その現状を憂いた地域の有志が、地元PTAと連携し、地域の子どもたちと一緒に生息状況調査を実施することとなった。
- また、遊休農地を活用し、野菜ソムリエと協働して「農」から学ぶ「生きる力」を育てるための、親子を対象とした食育プログラム「田んぼっこ」を実施。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積89ha  
(田76ha、畑13ha)
- ・資源量 水路31km、農道9km  
ため池12ヶ所
- ・主な構成員 農業者、自治会等
- ・交付金 約7百万円(R4)

農地維持 支払	資源向上 支払 (共同)	資源向上 支払 (長寿命化)
------------	--------------------	----------------------

### 活動開始前の状況や課題

- 整備済の広い農地では農地賃借を含めた有効活用が図られ付加価値のある野菜が栽培される一方、未整備農地では高齢化や後継者不足による耕作放棄地が問題となっていた。
- また、人口減、担い手不足から農地・農業用施設の保全・管理に多大な労力がかかるようになってきている状況である。



高齢者による農地・農業用施設の  
保全管理

### 取組内容



- 生態系保全及び関心の向上を目的として地域の子どもたちと一緒に生息状況調査を実施



- 地域おこし協力隊やその仲間の野菜ソムリエと協力して、遊休農地を活用した「田んぼっこ」を実施



- 非農業者も参加した全域農道・水路清掃活動を実施



景観形成  
(ひまわり迷路)



遊休農地活用  
(ソバ作付け)

### 取組の効果

- 幼稚園や小学校を中心とした地域の子ども達や保護者などと活動することにより、地域の農村環境への関心が向上した。その結果、保護者等による「ドジョウ・メダカ保存会」が設立され、構成員10名が参加している。子ども達にドジョウを池へ放流するなどの活動を実施しており、農村環境保全活動の更なる意識向上を目指している。
- 親子を対象とした「田んぼっこ」食育プログラムにより、収穫体験だけでなく、調理・販売実習を行い、多様な感性の育成を目指し活動している。



生き物調査状況



ドジョウ池へ放流



ゆいみどりほぜんかい

かんおんじし

### 油井水土里保全会（香川県観音寺市）

- 本組織は、平成19年に設立され、ほ場整備をきっかけに高齢化及び混住化に伴う遊休農地の解消や古くから受け継がれてきた資源の維持管理を図る目的で活動している。
- 本組織は水資源を維持管理していくために旧五兵池にビオトープの造成、及びフジバカマの植栽によりアサギマダラの誘致を行う等の生態系保全に取り組んでいる。
- また、様々な世代が交流できるような催しを行い、地域全体で保全活動への意識を高めている。

#### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積27ha  
(田25ha、畑2ha)
- ・資源量 水路15km、農道5km  
ため池1ヶ所
- ・主な構成員 農業者、自治会等
- ・交付金 約2百万円(R4)

農地維持  
支払

資源向上  
支払  
(共同)

資源向上  
支払  
(長寿命化)

#### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、高齢化及び混住化に伴い、遊休農地の発生や江戸時代から受け継がれてきた広庄池等水資源の維持管理が困難な状態である。
- 高齢化及び宅地化が進んでいることから、新興住宅の若い世代の協力を得て地域全体の環境活動とすることが課題となっている。



広庄池

#### 取組内容



- 地域における生物多様性を保全する(旧五兵池にビオトープを造成し、生態系保全を実施)



- やすらぎや福祉の機会を提供する(老若男女が交流できる催し物を行っている)



旧五兵池に造成したビオトープ

#### 取組の効果

- 旧五兵池にビオトープの造成、及びフジバカマを植栽し、アサギマダラの誘致を行っている。その結果、地域住民の憩いの場となり地域間の交流が深まっている。
- 子どもからお年寄りまで参加し、不要となったこいのぼりを掲揚するなど、様々な世代での交流の活性化を図り、地域全体で保全管理を行うという意識を高めるよう努めている。



フジバカマとアサギマダラ



こいのぼり掲揚状況



みのちようかんきょうほぜんかい

みとよし

## 三野町環境保全会 (香川県三豊市)

- 農業者の減少や高齢化に伴う農地・農業用施設の維持管理を地区全体で行うこと及び本地区の環境資源や伝統文化を後世に継承していくことを目標に多面的機能支払交付金の制度化を契機に平成26年度に設立された。
- 三野町環境保全会は旧三野町(平成18年に三豊市に合併)のほぼ全域で活動を実施している。本組織では管内を管轄している香川県三豊市三野町土地改良区内に事務局を設け、改良区が事務全般を行うことにより、地域の活動をサポートしている。
- 本組織は平地農業のため池を多数有することから、独自のため池緊急連絡網を作成や防災訓練を実施するなどして地域防災の意識を高めている。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積446ha (田409ha、畑37ha)
- ・資源量 水路46.3km、農道26.1km  
ため池77ヶ所
- ・主な構成員 自治会、学校、  
土地改良区等
- ・交付金 約36百万円(R4)

農地維持  
支払

資源向上  
支払  
(共同)

資源向上  
支払  
(長寿命化)

### 活動開始前の状況や課題

- 三野町は、香川県の西部、三豊市の北部に位置し、北は風光明媚な瀬戸内海に面し、東部と西部に山をひかえ、中心を南北に流れる高瀬川の東西に肥沃な美田が広がる平地農村地区である。
- 本組織は多数のため池を有するが都市化・混住化が進み、ため池を中心とした農業用施設の維持管理が問題となっている。



ため池の草刈り

### 取組内容



- 近年の大規模自然災害に対応するために、三野町ため池防災緊急連絡網を独自に策定した。



- 管内の大規模ため池において地元水利組合が中心となって防災訓練を実施。



- 土地改良区と連携し、事務を委託



三野町ため池緊急連絡網

### 取組の効果

- 緊急連絡網では管内にあるため池の管理者の連絡先をまとめている。有事の早急な対応を実施が可能になったことに加え、ため池管理者の防災の意識付けが図られた。
- 防災訓練は地元水利組合が自治会に呼びかけ、非農家も参加している。そのため、農家だけでなく非農家の地域住民の防災意識も高まった。
- また、令和5年度より一部の地域で田んぼダムを実施する予定であり、地域の防災に対する取組が加速している。



防災訓練の様子



# 地域外からの人の呼び込み

中間農業地域



キーワード

地域外からの人の呼び込み

なかやまちいきかつどうそしき しょうどしまちょう  
中山地域活動組織（香川県小豆島町）

- 中山地域活動組織は小豆島のほぼ中央に位置し、「日本の棚田百選」や「つなぐ棚田遺産」に選ばれた「中山千枚田」の保全を中心に、平成26年より本交付金による取組を実施している組織である。
- 平成26年の大学の地域学習を機に、棚田の景観や活動に興味を持った学生達で結成された自主サークル「棚田の会」を始め、地区内外の非農家ボランティアによる保全活動や、はさ掛け等の伝統農法に取り組み、地域外との交流活性化に積極的に取り組んでいる。
- また、水利組合、棚田協議会、町の地域おこし協力隊等が連携して遊休農地等の情報共有をおこない、発生防止の工夫をしている。
- また、コロナ禍の活動としては島外者の参加が集まりにくいことから令和4年度から「棚田アカデミー」を立ち上げ、島内の地域外非農業者に棚田での米作りについて学んでもらい、将来の担い手育成につなげている。

## 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積7ha（田7ha）
- ・資源量 水路5km  
農道3km  
ため池2ヶ所
- ・主な構成員 農業者、自治会、土地改良区等
- ・交付金 約0.5百万円(R4)

農地維持 支払	資源向上 支払 (共同)	資源向上 支払 (長寿命化)
------------	--------------------	----------------------

## 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、離島の山間部であり、後継者の若者が進学等で島外へ就職し、現役世代が高齢化に伴い離農すると、耕作者や地主がいない土地が発生していた。
- 「棚田」特有の狭小かつ急傾斜という立地条件から、農村・農地の維持管理への負担が大きくなっていった。



施設の保管理  
(水路の泥上げ)



棚田の景観保全  
(秋の草刈り)

## 取組内容



- 地域外への非農業者への担い手育成「棚田アカデミー」の実施



- はさ掛けといった伝統農法の実施、「中山農村歌舞伎」、「虫送り」といった伝統行事の実施による農村コミュニティの強化



はさ掛け  
(伝統農法)



虫送り  
(伝統行事)

## 取組の効果

- 草刈りや水路の泥上げなどの活動に非農家ボランティアが54人参加し、農地の保全に係る理解が増進。
- 平成26年に比べて農地の荒廃地は減少し、保全地は増加している。
- また、関係機関と遊休農地等の情報交換を行い、耕作放棄地の発生を防止している。
- 大学生が企画した「泥んこ遊び」を実施するなど地域活性化に繋がっている。



大学生と協働活動  
(農村環境保全)



棚田アカデミー  
(担い手育成)



### みどり さぶろういけちいき たかまつし 水・土・里ネット三郎池地域（香川県高松市）

- 本地域は香川県高松市の中央部に位置し、水田地帯に住居が混在する地域である。
- 三郎池を中心とした本地域では、近年混住化が進行したことにより、ため池や農業用水の重要性について住民意識が希薄化している。また、ため池等の農業用施設へのゴミの不法投棄も問題となっている。
- 宅地化による家庭ゴミや不法投棄によるゴミの流入量が増えたため、関係者に対して平成22年度に「ため池の一斉清掃」を発案した事が契機となり、本制度を活用する中で、3年に1回の池干しの際に小学校や関係団体と連携した、ため池クリーンアップ作戦の実施や小学生を対象とした校外学習を行うことで、ため池の存在認識の高まりや防災・減災及び環境保全に対する意識の向上に繋がっている。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積210ha  
(田206ha、畑4ha)
- ・資源量 水路100km  
農道0.3km  
ため池7箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会、  
子供会、土地改良区等
- ・交付金 約12百万円(R4)

農地維持  
支払

資源向上  
支払  
(共同)

資源向上  
支払  
(長寿命化)

### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、香川県高松市の中央部に位置し、稲作中心の水田地帯である。
- 本組織は、三郎池を中心に保全活動をしているが、混住化の進行により、ため池の重要性について住民意識が希薄化している。また、ため池等へのゴミの不法投棄も問題となっている。



地域の重要な水源である三郎池



ため池内のゴミ状況

### 取組内容



○ 3年に1回のため池の池干しを行い、法面や付帯施設の点検を実施



○ 池干しに併せて、小学校や関係団体と連携しクリーンアップ作戦を実施。

○ 池干しの際に小学生を対象にため池の役割やため池に生息する生物を説明する校外学習を実施。



ため池のクリーンアップ作戦



小学生を対象とした校外学習

### 取組の効果

- ため池の定期的な池干しや本交付金の活用により、ため池を点検する機会が増えたことから、損傷箇所を早期に発見することができている。
- 従来、池干しの際のゴミ回収は農業者が中心だったが、小学校や関係団体と連携したクリーンアップ作戦により、地域住民も多数参加し、農業者の負担が軽減されると共に、小学生への校外学習により防災・減災や環境保全に対する意識が向上。



池干し時の保安全管理



ため池内のゴミの収集状況

ふくらみてるいちくのうちみずかんきょうほぜんかい

なかたどぐん

ちよう

### 福良見・照井地区農地・水・環境保全会（香川県仲多度郡まんのう町）

- 平成23年に周辺2集落で活動組織を設立し、農業者が中心となって、農用地・農業用施設の保全管理を行っている。
- 農家を中心に行っていた、農用地・農業用施設の管理について、非農家の参加を呼びかけ地域全体で保全活動に取り組んでいる。
- 景観形成活動として農地を利用したペニチュアやパンジーなどの植栽、蕎麦の栽培から蕎麦打ちまでの体験を地区内の子ども会と連携して行っている。これにより非農家世帯の地域保全活動への参加を促し、次世代の後継者の育成や農家・非農家を問わない地域保全活動を目指している。

#### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積54ha  
(田52ha、畑2ha)
- ・資源量 水路28km  
農道9km  
ため池 5箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会等
- ・交付金 約4百万円(R4)

農地維持  
支払

資源向上  
支払  
(共同)

資源向上  
支払  
(長寿命化)

#### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、高齢化や後継者不足により、地域活動に参加する人数が減少し、施設の維持管理に支障をきたしていた。
- また、地区内の農業用施設の維持管理については、地区内の農家が中心となって行っており、非農家の方々との協力体制が乏しい状況であった。



高齢者による農業用施設の保全管理



#### 取組内容



- 農業者以外の地域保全活動への参加の促進(非農家、子ども会との連携)
- 子どもたちへの農村文化の継承や農業の伝達として蕎麦打ちを実施(農村文化の伝承を通じたコミュニティの強化)
- 蕎麦の作付けから蕎麦打ち体験による農業交流の実施(地域農業の学習の機会の提供)



ペニチュアの植栽



蕎麦栽培

#### 取組の効果

- 活動開始時には、農業者や高齢者のみの参加であった活動に子育て世代の参加が促進された。
- 年間の活動に延べ約1,000人(うち非農家180人)が参加し、地域一体となって、地域資源の保全活動が行われるようになった。農業者と非農家との交流の機会も増加し地域の活性化にも繋がっている。



蕎麦打ち体験



ため池の保守管理



# 土地改良区との連携による組織の広域化

平地農業地域



キーワード

地域資源の  
保全管理

組織の広域化  
・体制強化

ためんきょうてい

まるがめし

## 多面協定まるがめ（香川県丸亀市）

- 多面協定まるがめは、令和3年度に旧丸亀市管内の活動組織の事務負担軽減を目的に丸亀市土地改良区（旧丸亀市管内の改良区）が事務局となり広域化された組織である。
- 広域化を実現するにあたり、既存の組織だけでなく、未実施の地域にも声掛けを行った。
- その結果、未実施の8地区も広域化に加わり改良区受益の半分以上が加入した広域組織となった。広域化により組織の事務負担軽減となり、また改良区内で実施エリアが広がったことにより地域資源の保全管理が適切に行えるようになった。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積604ha（田582ha、畑22ha）
- ・資源量 水路160km、農道28.9km  
ため池30ヶ所
- ・主な構成員 自治会、女性会、  
土地改良区
- ・交付金 約36百万円（R4）

農地維持  
支払

資源向上  
支払  
(共同)

資源向上  
支払  
(長寿命化)

### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、一級河川土器川西側に広がる平野部を中心として活動している。本地域のため池の密集度は、ため池密度全国1位の香川県の中でも特に密集しており、昔から水に苦しんできた香川を象徴する地域。
- しかし、近年は都市化・混住化が進み、ため池を中心とした農業用施設の維持管理が問題となっている。



丸亀平野のため池群

### 取組内容



- 令和2年度に改良区を中心とした広域化を検討。
- 市や県の協力を仰ぎながら、改良区が各集落で複数回説明会を実施。未実施の地区は多面の制度から、実施の地区は広域のメリットを重点に説明。
- 結果、改良区受益の半分以上が加入した広域組織となった。

#### 既存6組織

田223ha、畑9ha、計232ha

+

#### 未実施8地区

田342ha、畑11ha、計353ha

||

#### R3年度 多面協定まるがめ

田566ha、畑20ha、計586ha

(R4年度に既存1組織さらに加入)

### 取組の効果

- 多面の事務作業について、土地改良区がサポートすることにより、未実施の地区が取り組めるようになった。
- また、機能診断や長寿命化工事を事務局が一括して発注することにより、地元の作業負担を軽減。
- 広域化することにより予算を流動的に活用することができ、地域資源の保全管理が適切に行えるようになった。



水土里ネット香川による  
施設の機能診断



長寿命化工事



ほんむらちくかんきょうほぜんかい

かんおんじし

## 本村地区環境保全会（香川県観音寺市）

- 本村地区環境保全会は、農業者の減少や高齢化に伴う農地・農業用施設の維持管理を地区全体で行うこと及び本地区の環境資源や伝統文化を後世に継承していくことを目標に平成19年に設立された組織である。
- 有機微生物群活性液を作成し開水路等へ放流する活動を15年以上続けており、水質保全のための活動を実践している。また、婦人会が中心となることで女性の参画も促進している。
- 子供会、長寿会、営農集団を中心にコスモスやヒマワリの植栽等を行っており、環境資源や伝統文化を継承していくための世代間交流を促進している。

### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積46ha  
（田38ha、畑8ha）
- ・資源量 水路25km、農道6km  
ため池4ヶ所
- ・主な構成員 農業者、婦人会、  
子供会等
- ・交付金 約3百万円（R4）

農地維持  
支払

資源向上  
支払  
(共同)

資源向上  
支払  
(長寿命化)

### 活動開始前の状況や課題

- 本地区は、農業者の減少や高齢化に伴い、農地及び農業用施設の維持管理に苦慮している。
- 混住化・高齢化が進んでいるため、本地区の環境資源や伝統文化を後世へいかに継承できるかが課題となっており、地区全体でこの問題に取り組むことを目標とした。



伝統文化(秋祭りの山車)

### 取組内容



- 女性の参画により地域や活動組織の取り組みの可能性を広げる(婦人会で有機微生物群活性液を作成)



- 多様な主体の参画による地域づくりを促進させる(景観形成のために植栽を実施)



子供会や長寿会による景観植物の植栽

### 取組の効果

- 婦人会で有機微生物群活性液作成及び水路等への放流を行うことで水質浄化され、流域河川に蛍が発生するようになった。また、小学校等の教育機関と連携して、授業の一環で取り組むようになった。
- 景観形成活動としてコスモスやヒマワリの植栽を子供会、長寿会、婦人会といった地域全体で取り組むことで、環境保全及び地域活性化に繋がっている。



婦人会による活性液の作成及び放流



こめのかんきょうほぜんかい まつやま

### 米之野環境保全会（愛媛県松山市）

- 本地域は、典型的な中山間地域で棚田によって形成された美しい風景が広がり、昼夜の寒暖差が激しいことから稲作栽培に適したところであり、特に酒米（山田錦）の栽培が盛んな地域である。
- 本組織は、平成19年に自治会を中心に設立し、本交付金の前身である農地・水・環境保全向上対策による取組を実施している。
- 本組織はバーク（伐採した樹皮）の堆肥化、アメノウオの放流など、様々な活動を通して地域の環境保全の推進に貢献するとともに、地域住民への啓発普及も進んでいる。

#### 【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積11.1ha  
（田10.1ha、畑1.0ha）
- ・資源量 水路4.0km  
農道4.0km
- ・主な構成員 農業者、自治会
- ・交付金 約0.5百万円(R4)

農地維持  
支払

資源向上  
支払  
(共同)

資源向上  
支払  
(長寿命化)

#### 活動開始前の状況や課題

- 本地域は、農業者の高齢化や後継者不足が進行し、農地・水路・農道等の保管理が困難であると考えていた。
- 高齢化や農林業の衰退により山林の維持管理が難しくなり、間伐材等の処分に苦慮していた。
- 集落を流れる立岩川に生息するアユ、アメノウオ、ニジマスなどが近年減少している。



米之野集落の風景

#### 取組内容



○ 中山間地域等直接支払制度と連携した農用地や地域資源の保管理を実施。



○ 樹木の伐採時に廃棄される樹皮（バーク）の堆肥化を行い（バーク堆肥）、地域の農業者に無償で提供した。



○ 昔から漁業資源としても利用され、なじみ深いアメノウオの生息する立岩川を守るため、毎年、稚魚を放流した。



バーク材の堆肥化



アメノウオの放流

#### 取組の効果

- アメノウオの放流では、地域住民20名程度が参加する勉強会などの交流を通して、在来種が生息できる自然環境を守っていくことについて啓発普及が進んだ。
- バーク堆肥の使用により、作物の生育が良くなるとともに、経費の削減にもつながった。



地域住民との交流



バーク堆肥の配布